

## 読書感想文コンクールに挑戦しましょう！！ ※応募には校内で審査があります。

### ◆対象図書

#### ①自由読書

自由に選んだ図書。フィクション、ノンフィクションを問いません。

※教科書や副読本、雑誌は対象になりません。

#### ②課題読書（課題図書） 次のページの Q&A 参照

☆「どうやって書いたらいいの!？」にアドバイス☆

読むときに、「ここがいいな」や「おもしろーい」「くすくす」「じーん」「泣ける…」と思うところが出てくるはず!そんな場所を忘れないうちにメモしておきましょう。

メモを見ながら、「どうしてそんな気持ちになったかな。」「自分ならどうするかな。」など考えながらもう一度読んでみましょう。

自分が心を動かされたのはどうしてか、どうすればその想いを表現できるか、順番を考えながら書けるといいですね。

その本を読むことによって、あなたの心がどのように成長したか書けるといいです♡

### ◆応募のきまり

①原稿用紙（B4サイズ20×20字 市販のもの）に縦書きで書きましょう。

低学年は16×15字の原稿用紙でも構いません。

②本文から書き始めましょう。題名・学校名・氏名は原稿用紙の右側の欄外に書きましょう。

③文字数 低学年の部：本文 800字以内

中・高学年の部：本文1200字以内

※題名・学校名・氏名は、字数に数えませんが、改行のための空欄は字数に含まれます。

④校内審査で選ばれた人に、応募票を渡します。応募票に必要事項を記入し、作品の一番上に貼付して、右肩をとじましょう。応募票は記入漏れのないように、保護者の方に書いてもらいましょう。

⑤締め切りは **8月27日（水）**です。担任の先生に出しましょう。

# 読書感想文 Q & A

「読書感想文をどうやって書いたらいいかわからない」  
「どんな本を読んだらいいかわからない」  
そんな声にお答えします。  
さあ、読書感想文にチャレンジしよう！



イメージキャラクター おほんちゃん

**Q** なぜ、本を読むことが大切なのですか。

**A** 一冊の本が、人生を変えてしまうことがあります。本の中で旅をしたり恋をしたり、冒険をしたり……。人は本の中にいるいろいろなことを体験できます。登場人物と自分の生き方や考え方を比べて、共感したり反発したりします。また、本を使って、疑問に思ったことを解決するために調べることもできます。本を読んで新しいことを知ると、びっくりしたりうれしくなったりします。本は、人の心を成長させてくれ、いろいろなことを教えてくれる友だちです。

**Q** 読書感想文は、何のために書くのですか。

**A** 書くことによって考えを深められるからです。読書感想文を書くことを通して思考の世界へ導かれ、著者が言いたかったことに思いをめぐらせたり、わからなかったことを解決したりできるのです。ですから読書感想文は「考える読書」とも言われます。また、どんなに強く心を動かされても、時間がたてばその記憶は薄れてしまいます。読書感想文は自分自身の記録です。読み返すことによって、いつでも「感動した自分」に出会うことができるのです。

**Q** 「課題読書」・「自由読書」って何ですか。

**A** 読書感想文コンクールの主催者が指定した本を読んで書くのが「課題読書」です。本の専門家の先生方が、新しく出版されたたくさんの中から、学年に合わせて、多くの感動を得られたり新たな知識を得られたりする本を、フィクション、ノンフィクション、外国作品など幅広く選んだものです。ぜひ読んでみてください。一方、自分で読みたい本を自由に選んで読書感想文を書くのが「自由読書」です。フィクションでもノンフィクションでもかまいません。読書感想文は「読書の幅」を広げるチャンスです。ふだん物語や小説をよく読む人は科学の本にチャレンジしたり、スポーツの本をよく読む人は伝記を読んでみてください。

**Q** 何をどう書けばいいかわかりません。どうすればいいですか。

**A** 本を読んで自分がどこに感動したのか、なぜ感動したのかを考えましょう。そしてもう一度本を読んでみましょう。自分の生き方や経験と本の世界とを照らし合わせると、いろいろなことが見えてきます。感じたこと、思ったこと、連想したことなどを忘れないうちに全部メモしておきましょう。そうしたら、順番を入れ替えたり内容を補ったりして、どう書けば自分の心の動きにぴったりするか、それがうまく人に伝わるかを考えましょう。先生や家の人と相談してみるのもいいでしょう。そうするうちに何をどう書けばいいのかわかり、自分が一番言いたいことは何なのかわかりはつきりしてきます。書き終わった時には、それまでとはどこか少し違った自分になっていることに気づくはずですよ。

**Q** どんな本を読んだらいいのかわかりません。教えてください。

**A** 思いっきり楽しめたり、自分を見つめなおしたり、新しいことを教えられたり……。自分の心を突き動かしてくれる本が、その人にとっての「良い本」だといえます。自分に合った、心を動かされる本を探してみましょう。迷ったら、自分のことをよく知っている人、たとえば家族や担任の先生、教科の先生、部活の顧問の先生に相談してみましょう。「本の専門家」の図書館の先生に相談してもいいですよ。友だちと本を紹介し合うのもいいですね。

**Q** 題名はどうつけたらいいですか。

**A** 本を選ぶとき、本の題名を見ながら「おもしろいかなあ？」とか「読んでみようかなあ？」と考えることはありません。題名一つ見ただけで「読んでみたい」とか「読みたい」とか思ってしまう。魅力的な題名は人をひきつける力があります。せっかく書いた読書感想文ですから、人が読んでみたくなるような題名を考えましょう。自分が一番感動したことやもっとも言いたいことの、中心となることばを考えて題名にするといいですよ。

**Q** 読んだ本の本文や解説などを引用してもいいですか。

**A** 読書感想文は、本を読んだ自分の思いや心の動きを中心に書くものですから、できるだけ自分のことばを使って書くようにしましょう。確かに解説やあとがきなどは、本の世界をより深く理解するために参考になることがあります。ですから、場合によっては引用する必要が出てくるかもしれません。引用する場合は、一字一句本文と違わないように書いて、必ず「」（カギカッコ）でくくりましょう。

**Q** 字数は規定の字数以内なら何字でもいいですか。

**A** 本を読んだ感動や本を読んだ考えたことを、人に伝えるように十分に書き表すためには、ある程度のことばの量が必要です。心の中のおふれる思いを、たくさんのことばを使って表現してみましょう。字数の規定はいわばことばで表現できるグラウンドの広さです。せっかく広いグラウンドが用意されているのに、それを自分で狭くする必要はありません。規定の字数をなるべくいっぱい使って、思いっきり読書の感動を表現してみましょう。

## 第71回 青少年読書感想文全国コンクール 課題図書

### 小学校の部 1・2年生



**ライオンくのにのネズミ**  
さかとくみ雪 作  
定価 1,760円(本体 1,600円)  
ISBN978-4-12-005848-6  
〈中央公論新社〉



**ぼくのねこポー**  
岩瀬成子 作  
松成真理子 絵  
定価 1,430円(本体 1,300円)  
ISBN978-4-569-88162-1  
〈PHP研究所〉



**ともだち**  
リンダ・サラ 作  
ベンジー・デイヴィス 絵  
しらいすみこ 訳  
定価 1,760円(本体 1,600円)  
ISBN978-4-86549-336-8  
〈ひさかたチャイルド〉



**ワレワレはアマガエル**  
松橋利光 文・写真  
定価 1,870円(本体 1,700円)  
ISBN978-4-7520-1099-9  
〈アリス館〉

### 小学校の部 3・4年生



**ふみきりペンギン**  
おくはらゆめ 作・絵  
定価 1,430円(本体 1,300円)  
ISBN978-4-251-07316-7  
〈あかね書房〉



**バラクラバ・ボーイ**  
ジェニー・ロブソン 作  
もりうちすみこ 訳  
黒須高嶺 絵  
定価 1,540円(本体 1,400円)  
ISBN978-4-580-82623-6  
〈文研出版〉



**たった2°Cで…**  
:地球の気温上昇がもたらす環境災害  
キム・ファン 文  
チョン・ジンギョン 絵  
定価 1,980円(本体 1,800円)  
ISBN978-4-494-01256-5  
〈童心社〉



**ねえねえ、なにを見てる?**  
ビクター・ベルモンド 絵と文  
金原瑞人 訳  
定価 1,793円(本体 1,630円)  
ISBN978-4-309-23155-6  
〈河出書房新社〉

### 小学校の部 5・6年生



**ぼくの色、見つけた!**  
志津栄子 作  
末山りん 絵  
定価 1,650円(本体 1,500円)  
ISBN978-4-06-535439-1  
〈講談社〉



**森に帰らなかったカラス**  
ジーン・ウィリス 作  
山崎美紀 訳  
定価 1,760円(本体 1,600円)  
ISBN978-4-19-865894-6  
〈徳間書店〉



**マナティーがいた夏**  
エヴァン・グリフィス 作  
多賀谷正子 訳  
定価 1,760円(本体 1,600円)  
ISBN978-4-593-10430-7  
〈ほるぷ出版〉



**とびたて! みんなのドラゴン**  
:難病ALSの先生と日明小合唱部の冒険  
オザワ部長 著  
定価 1,650円(本体 1,500円)  
ISBN978-4-265-08041-0  
〈岩崎書店〉

### 中学校の部



**わたしは食べるのが下手**  
天川栄人 作  
定価 1,760円(本体 1,600円)  
ISBN978-4-338-28728-9  
〈小峰書店〉

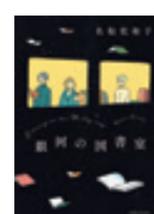


**スラムに水は流れない**  
ヴァルシャ・バジャージ 著  
村上利佳 訳  
定価 1,760円(本体 1,600円)  
ISBN978-4-7515-3184-6  
〈あすなる書房〉



**鳥居きみ子**  
:家族とフィールドワークを進めた人類学者  
竹内紘子 著  
定価 1,540円(本体 1,400円)  
ISBN978-4-7743-3386-1  
〈くもん出版〉

### 高等学校の部



**銀河の図書室**  
名取佐和子 著  
定価 1,870円(本体 1,700円)  
ISBN978-4-408-53859-4  
〈実業之日本社〉



**夜の日記**  
ヴィーラ・ヒランダンニ 著  
山田文 訳  
金原瑞人 選  
定価 2,420円(本体 2,200円)  
ISBN978-4-86793-041-0  
〈作品社〉



**「コーダ」のぼくが見る世界**  
:聴こえない親のもとに生まれて  
五十嵐大著  
定価 1,760円(本体 1,600円)  
ISBN978-4-314-01208-9  
〈紀伊國屋書店〉